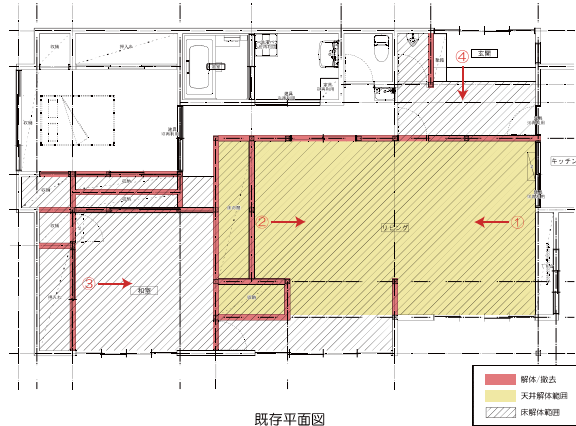


リフォーム前



リフォーム後



既存平面図

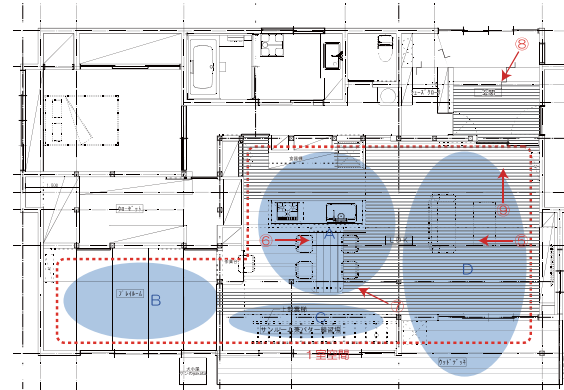
【主な改修箇所】

○機能ごとに壁で分断され上手く使えていないリビング/キッチン
⇒間仕切り壁を解体し、採光通風等、居室として条件の良い南側にLDKとして集約

○孤立し使われていない和室
⇒和室は、LDKと一体利用できるプレイルームとし、家族の成長にあわせ間仕切り可能な空間へ

○分散した収納
⇒収納は、子供室への動線を兼ねた位置へ大容量のウォークインクローゼットとして集約

○玄関からアクセスの悪いリビング
⇒間仕切り壁を解体し、2枚建てのガラス戸とすることで、視認性の良い伸びやかな空間へ



平面図

【コンセプト】

本州の南端、鹿児島県の指宿市に建つ住宅の改修です。
改修前にこの住宅を訪れた際、使われていないor使い方が限定された空間＝「余白」が建物の大部分を占めていることに気がきました。
改修にあたって最初に考えたことは、その「余白」を最大限に活かし、家族が程よい距離感を保ちながら、共に生活する豊かさを紡いでいける「あそび＝家族相互間の隙間/ゆとり」の場を作ることでした。

具体的には、細かく仕切られていた既存間取りの南半分を1室につなぎ、各部屋に散らばっていた収納を1か所に整理し、条件のよい南側の居室面積を最大限確保できるよう計画しています。
1室空間となったLDK+プレイルームは、あらかじめ柔軟に仕切れる仕掛けを施すことで、ライフステージの変化に対応できるよう配慮しています。

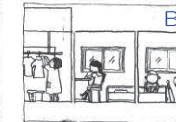
より多くの時間を過ごすLDKは、天井を解体、梁は現し仕上げとし、天井高さを確保、構造上の必要で残した壁の姿・家形（屋形）を「yakata」と名付けて、色をつけることでこの場の象徴としています。

施主の希望により、自主施工とした仕上げ工事は、作業性と将来のメンテナンスを考慮し塗り壁、水性塗料を採用し、難しい納まりや無駄に要素を増やすことは避けました。
施主自らが施工することで、より愛着のある住宅となり、今後、手を入れ続けることによってより豊かな生活を紡いでいける「遊び」の場となることを願っています。

【ライフステージの変化】



01.子育て期
お料理しながら子供と
コミュニケーション♪



02.子供たちの成長期
それぞれの個室で
勉強や趣味に集中！

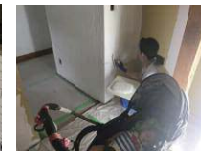


03.子供たちが巣立ち
ゴルフにフランス、
没頭できる趣味の空間♪



04.孫たちに囲まれて
お盆はみんなで夏を聞き、
花火が恒例♪

【施主施工の様子】



yakata

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	リフォーム 内容	床・間仕切り壁・天井の既存解体+新設 水廻り設備機器の更新等
祝ださん	廣瀬 卓司	綴組/谷口建築	約35年	在来木造	一戸建て	平成28年7月	約2ヶ月	約600万		